

# 世界の 古代遺跡



世界遺産 54件 掲載 !!

The World Ancient Ruins



Gakken

数千年の時を超え、古代遺跡を巡る旅に出発だ !!



空中都市マチュ・ピチュ、  
巨大都市遺跡アンコール、  
謎の巨石文明が遺した  
ストーンヘンジ、  
古代エジプト文明の  
ピラミッド群 etc.

02	古代都市テーベ / エジプト	066
03	ヌビア遺跡群 / エジプト	070
04	ラリベラの岩窟教会 / エチオピア	072
05	レプティス・マグナ / リビア	073
06	エル・ジェムの円形闘技場 / チュニジア	074
07	スベイトラ / チュニジア	075
08	カルタゴ遺跡 / チュニジア	076
09	アイト・ベン・ハドウの集落 / モロッコ	078

## EUROPE

01	アテネのアクロポリス / ギリシャ	082
02	ミケーネ遺跡 / ギリシャ	084
03	オリンピア遺跡 / ギリシャ	085
04	マルタの巨石神殿群 / マルタ	086
05	神殿の谷 / イタリア	088
06	ボンベイ遺跡 / イタリア	090
07	ローマの遺跡群 / イタリア	092
08	アルルのローマ遺跡 / フランス	096
09	ボン・デュ・ガール / フランス	097
10	ストーンヘンジ / イギリス	098
11	オークニー諸島の遺跡群 / イギリス	100
12	スケリッグ・マイケル / アイルランド	101

## NORTH & SOUTH AMERICA

01	メサ・ヴェルデ / アメリカ	104
02	チチェン・イツァ / メキシコ	106
03	テオティワカン / メキシコ	110
04	ウシュマル / メキシコ	112
05	パレンケ / メキシコ	114
06	モンテ・アルバン / メキシコ	115
07	ティカル / グアテマラ	116
08	コバン / ホンジュラス	118
09	チャンチャン / ペルー	119
10	ナスカの地上絵 / ペルー	120
11	マチュ・ピチュ / ペルー	122
12	ラバ・ヌイのモアイ像 / チリ	126

080

102

# CONTENTS



世界の古代遺跡 BEST 56 MAP	004
一目で分かる古代文明	006

## ASIA

01	万里の長城 / 中国	010
02	莫高窟 / 中国	014
03	雲崗石窟 / 中国	015
04	バガン / ミャンマー	016
05	アンコール遺跡 / カンボジア	020
06	アユタヤ遺跡 / タイ	024
07	古代都市スコタイ / タイ	026
08	アジャンター石窟群 / インド	028
09	エローラ石窟群 / インド	030
10	カジュラーホー遺跡 / インド	032
11	マハーバリプラムの建造物群 / インド	033
12	ブランバナン寺院群 / インドネシア	034
13	ボロブドゥル寺院遺跡群 / インドネシア	036
14	古代都市シギリヤ / スリランカ	038
15	モヘンジョダロの遺跡 / パキスタン	039

## MIDDLE EAST

01	ベルセポリス / イラン	042
02	バルミラ遺跡 / シリア	044
03	カッパドキア / トルコ	046
04	ヒエラポリス / トルコ	050
05	トロイ遺跡 / トルコ	052
06	ネムルット・ダー / トルコ	053
07	パールベック / レバノン	054
08	ペトラ / ヨルダン	056

## AFRICA

01	エジプトのピラミッド地帯 / エジプト	062
----	---------------------	-----



08 アジャンター石窟群  
【インド】



09 エローラ石窟群  
【インド】



10 カジュラーホー遺跡  
【インド】



11 マハーバリプラムの建造物群  
【インド】



12 プランバナン寺院群  
【インドネシア】



13 ボロブドゥル寺院遺跡群  
【インドネシア】



14 古代都市シギリヤ  
【スリランカ】



15 モヘンジョダロの遺跡  
【パキスタン】



01 万里の長城  
【中国】



02 莫高窟  
【中国】



03 雲崗石窟  
【中国】



04 バガン  
【ミャンマー】



05 アンコール遺跡  
【カンボジア】



06 アユタヤ遺跡  
【タイ】



07 古代都市スコタイ  
【タイ】

# ASIA

文化、芸術、宗教……  
アジアの歴史を  
凝縮した遺跡群

王が建造させた  
壮大な都市や城塞、  
人々の信仰から生まれた  
壮麗な寺院や仏塔。

アジアの遺跡は、  
そのどれもが  
華やかでありながら荘厳で、  
巨大でありながら細密だ。

急激に変わりゆく  
現代のアジア。  
そのルーツを解き明かす  
古代遺跡を巡る旅に  
出かけよう。

雲崗石窟(うんこうせつくつ)のシンボルである第20窟の「露天大仏」。高さ13.75mの座像で、第20窟は最初期に造られた「曇曜五窟(どんようごくつ)」の一つ。



ACCESS

万里の長城  
中国

北京北駅から八達嶺まで列車で1時間～1時間半。または、北京市内からバスで約1時間半。

歴代皇帝が営々と築き上げた  
史上最大・最長の建築物

雲海に包まれた夜明け前の万里の長城。雲海は刻一刻とその姿を変え、まさに幽玄の世界が眼前に展開する。

The Great Wall 

世界遺産 ▶ 万里の長城

中国

世界最大級の古代遺跡、万里の長城。外敵の侵入を防ぐために、歴代王朝によって営々と築かれたこの城壁は、現存するものだけでも6200km以上の長さを誇る。各所にのろし台や関所などが設けられており、古代中国の覇権の一端をうかがい知ることができる。

### 国境の防衛に端を発して 東西に延びた長大な史跡

東は遼寧省虎山から西は甘肅省嘉峪関まで、広大な中国の各地域にまたがって延びる二万キロ以上(諸説あり)の長大な城壁、万里の長城。北京近郊にも八達嶺や司馬台など数多くの見所があつて、眼下に広がる壮大な中国大陸のパノラマが、観光客に絶大な人気を博している。

その起源は、紀元前七世紀ごろの春秋・戦国時代に始まる。当時、各諸侯国では外敵や異民族の攻撃に備えて、国境に長城と呼ばれる城壁を築いていた。やがて、紀元前二二一年に中国統一を成し遂げた秦の始皇帝により、これらの長城に大幅な増築が施さ

れ、ひとつなぎの大城壁が完成した。これが、万里の長城の原型である。

以降、歴代の王たちが増築を繰り返したが、現在ではそのほとんどが風化してしまっている。現存している長城の大部分は、北方民族の侵入を防ぐために、明代に築かれたものだ。しかし、明は北方民族である後金(のちの清)との戦いに敗れ、清が中国を支配してからおよそ二七〇年余り、長城は荒廃の一途をたどった。

一九五五年にようやく八達嶺長城(明代に建設が一般公開され、以降、長城の各所が整備され、修復、保存作業が進められた。一九八七年に世界遺産に登録され、多くの人人に古代中国の歴史を伝え続けている。



【上】一定の間隔で設けられている「敵楼(敵を監視する望楼)」。長城は、高さ7~8m、幅5~10mで、馬5頭が並んで駆けられるように設計された。【下】どこまでも続く長城と日の出を見られるツアーは特に人気。朝日を浴びて輝く長城の威容は、2000年の悠久の時を感じさせてくれる。



【左】周囲の山々が紅葉で色付く秋は特にオススメの季節。【右/上】砂漠のなかにこつぜんと現れる長城の最西端、嘉峪関。東端の山海関と並び称される要衝で、「天下第一雄関」と呼ばれる。【右/下】場所によっては急こう配が続く。万里の長城という名称は、「史記」のなかで「万余里の長さ」と記されたことに由来する。

#### ベストシーズン

■5月~6月、9月~11月  
春先は黄砂が多く、冬の寒波も非常に厳しいため、初夏や秋がオススメ。

#### ココが見所!!

北京から程近い八達嶺(写真)は、長城のなかでもとりわけ保存状態がよく、人気の高い観光スポットとなっている。飲食店や土産物屋、ロープウエーなど観光施設が充実していて、アクセスも便利。列車やバスなどの交通機関が整備されていて、北京市内から気軽に足を延ばすことができる。



## 世界の古代遺跡

2013年5月7日 第1刷発行

企画・編集	教養実用出版事業室	発行人	脇谷典利
編集	EDing Corporation	編集人	南條達也
編集スタッフ	谷伸子・武井誠・ 多田あゆみ・小出彩奈・ 乙原優子	編集長	渡部義之
デザイン	谷伸子	発行所	株式会社 学研パブリッシング 〒141-8412 東京都品川区西五反田 2-11-8
写真	Shutterstock photolibrary	発売元	株式会社 学研マーケティング 〒141-8415 東京都品川区西五反田 2-11-8
		印刷所	凸版印刷株式会社

### 【この本に関するお問い合わせ先】

#### 【電話の場合】

- 編集内容については 03-6431-1511 (編集部直通)
- 在庫、不良品(落丁、乱丁)については 03-6431-1201 (販売部直通)
- 学研商品に関するお問い合わせは 03-6431-1002 (学研お客様センター)

#### 【文書の場合】

〒141-8418 東京都品川区西五反田 2-11-8  
学研お客様センター『世界の古代遺跡』係

- 学研の書籍・雑誌についての新刊情報・詳細情報は下記をご覧ください。  
学研出版サイト <http://hon.gakken.jp/>

© Gakken Publishing 2013 Printed in Japan

本書の内容、写真などの無断転載、複製、複写(コピー)、翻訳を禁じます。  
本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することは、  
たとえ個人や家庭内の利用であっても、著作権法上、認められておりません。  
複写をご希望の場合は下記までご連絡ください。  
日本複製権センター <http://www.jrrc.or.jp>  
E-mail: [jrrc\\_info@jrrc.or.jp](mailto:jrrc_info@jrrc.or.jp) Tel.03-3401-2382  
℞ <日本複製権センター委託出版物>